



本事業の目的

- JSTの次世代研究者挑戦的研究プログラム（Support for Pioneering Research Initiated by the Next Generation : **SPRING**）は、我が国の科学技術・イノベーションの創出を担う優れた博士後期課程学生に対し、自由で挑戦的な研究に専念するための経済的支援と、キャリア開発・育成コンテンツといった教育的支援等を行うことで、多様なキャリアパスで活躍できる博士人材へと導くことを目的としています。
- 本学では、2021～2023年度に、博士学生支援事業である「EU フェローシップ事業」を実施してきましたが、2024年度から支援内容を強化した上で、愛媛大学次世代研究者挑戦的研究プログラム「**EU SPRING事業**」として再スタートしています。
- 対象学生の皆様には、この「**EU SPRING事業**」にチャレンジして採用されることで、経済面を心配することなく、研究への専念、自己研鑽、並びにキャリアの熟考を進めてください。そして将来、社会で大いに活躍いただくことを期待しています。

EU SPRING 事業統括 理事・副学長 八尋 秀典

本事業の学生選抜概要

種 類	2025年春選抜【今回募集】		2025年秋選抜【予告】
	2025年4月入学予定生	2024年4月入学学生欠員補充生	今後、内容を変更することがあります
対 象 者	理工学研究科博士後期課程・連合農学研究科博士課程		
	2025年4月入学予定生	2024年4月入学学生	2025年9・10月入学予定生
選抜人数	10名		2名
	2名		2名
応募締切	2025年2月18日(火) 17時	2025年2月18日(火) 17時	2025年8月頃
評価基準	・実施する研究内容 ・日本の科学技術・イノベーションの将来を担う志 ・学業成績(修士) ・研究業績(過去3年間)	・実施する研究内容 ・日本の科学技術・イノベーションの将来を担う志 ・研究業績(過去4年間)	・実施する研究内容 ・日本の科学技術・イノベーションの将来を担う志 ・学業成績(修士) ・研究業績(過去3年間)
支援期間	2025年4月から 2028年3月までの3年間	2025年4月から 2027年3月までの2年間	2025年10月から 2028年9月までの3年間
申請できない者	・支援期間に、所属する大学や企業等から年額240万円以上の給与等の安定的な収入を得る予定の者 ・支援期間に、生活費に係る年額240万円以上の給付型奨学金を得る予定の学生 ・支援期間に、日本学術振興会の特別研究員、国費外国人留学生又は本国から奨学金等の支援を受ける留学生 ・成績不振により修了が延期している又は延期が確定している者、休学中の者		

申請方法／スライド8のWebページに掲載してある公募要領と申請様式を参照してください。
指導(予定)教員を通じて、申請書等一式を応募締切までに提出してください。

3

本事業のフローと波及効果



4

経 済 的 支 援

■研究奨励費（生活費相当）

月額20万円を給付します。

使途に制限はありません。支援期間は最大3年間です。
本学から直接学生に給付します。

■研究費

年額28万円を給付します。

学生の研究活動に使います。支援期間は最大3年間です。
経理は、本学が学生に代わって処理します。

■海外活動支援（推奨）

学生の国際性の涵養のために、短期留学、海外派遣研修、必修科目「リサーチ・インターンシップ」における海外インターンシップといった海外活動を推奨し、実施する学生には、渡航費用について支援を行います。

5

キャリア開発・育成支援

■ SPRING学生は下記4科目を必修とし、履修すれば各1単位を付与します。

（連合農学研究科や欠員補充枠の選抜者は、他の科目を履修することもできます。）

C1 ファンダメンタル・アカデミックスキル科目

～英語力の養成～《1単位》

リーディング・ライティング・プレゼンテーションといった各種演習を通じて、バランスの取れた総合的で実践的な英語力を養成する科目



C2 アドバンスド・アカデミックスキル科目

～研究付帯力の養成～《1単位》

知財講義、論文作成講義、外部資金獲得演習、研究者交流、SDGs・異分野技術・DX関連セミナー等を通じて、研究に付帯すべき力を養成する科目



各科目の詳細については、スライド9～12を参照

C3 キャリアパス・ディベロップメント科目

～キャリア形成力の養成～《1単位》

企業等の開発現場の見学、コミュニケーション講義、本学OBとの交流、進路情報講義、自己理解を深めるグループワーク等を通じて、キャリア形成力を養成する科目



C4 リサーチ・インターンシップ科目

～実社会の体験～《1単位》

企業等のインターンシップに参画し、課題解決型のプロジェクト等に取り組むことで、研究開発の社会的意義、自己の総合能力、キャリア志向を認識する科目



6

その他支援

■学生の社会人力測定

学生の成長とSPRING事業全体の効果を可視化し、検証するために、学生に対し、社会人力の測定と分析・指導を実施します。



社会人力測定
全SPRING学生に
対して社会人力を
年1回測定
自己の強みや弱み
を把握して成長

Literacy × Competency
全領域

社会人力測定とは、学生が社会で必要とする能力を測定するためのツールです。

社会人力測定は、学生が社会で必要とする能力を測定するためのツールです。

社会人力測定は、学生が社会で必要とする能力を測定するためのツールです。

社会人力測定は、学生が社会で必要とする能力を測定するためのツールです。

社会人力測定は、学生が社会で必要とする能力を測定するためのツールです。

社会人力測定は、学生が社会で必要とする能力を測定するためのツールです。

社会人力測定は、学生が社会で必要とする能力を測定するためのツールです。



■成果発表会

本事業で得られた様々な成果を、発表会という形で還元します。

■メンターのフォロー

メンターが学生に対し、定期的に個人面談を行うとともに、指導教員・就職担当教職員等と連携して、就職やメンタル面をフォローします。

7

重要な義務や注意点

■SPRING学生の義務

- (1) 研究計画に基づき研究活動に専念すること
- (2) 本学が指定する科目を履修し単位を修得すること（欠員補充者を除く）
- (3) 指導教員に研究活動の状況を定期的に報告すること
- (4) メンターによる面談を定期的に受けること
- (5) 分野ごとに定められた時期により、学外に向けた研究成果の発表を行うこと
- (6) 研究倫理教育を受講すること
- (7) 研究活動での不正行為等を行わないこと
- (8) SPRING修了後10年間、キャリアの情報提供に協力すること

■税金・保険・年金等納付義務の発生

研究奨励費は、税法上「雑所得」のため、所得税、住民税の課税対象となりますので、各自で毎年確定申告を行って税金を納める必要があります。また、親族に扶養されている方は、所得が発生することで、扶養を外れて国民健康保険・国民年金等に参加し、保険料等を納付する必要性が生じます。

■授業料免除制度なし

本事業でのSPRING学生への授業料免除はありません。これまで授業料免除を受けていた方は、所得の発生により、受けられなくなる場合があります。

募集に関するお問合せ先・Webページ

spapply@stu.ehime-u.ac.jp
https://www.eng.ehime-u.ac.jp/rikougaku/fellowship/



8

C1 ファンダメンタル・アカデミックスキル科目

【英語力の養成】

<1単位>

リーディング・ライティング・プレゼンテーションといった各種演習を通じて、バランスの取れた総合的で実践的な英語力を養成する科目

回	項目	時間	内容	備考
1	英語プレゼン演習1	1.5H	自分の研究について、英語での発表演習等を行う。また専門家から講習を受ける。	講師：学内教員 企業者
2	英語プレゼン演習2	1.5H		
3	英語プレゼン演習3	1.5H		
4	ビジネス英語実務講義	1.5H	企業の海外経験者からビジネスシーンでの英語の活用を学ぶ。	講師：企業者
5	英語ライティング演習1	1.5H	英語ライティングの文法力や表現力を向上させる演習等を行う。	講師：学内教員
6	英語ライティング演習2	1.5H		
7	英語ライティング演習3	1.5H		
8	英語ライティング演習4	1.5H		

授業は随時実施します。原則D1時に履修を完了してください。

過去の 実施例

第1回 英語プレゼン
テーション演習

学生が互いに英語で
自分の研究を紹介



第4回 ビジネス英語実
務者講義

講師が海外での勤務体
験を交えたコミュニ
ケーション方法を講義



第5-8回 英語ライ
ティング演習

英語の履歴書やカ
バーレター・メール
などを作成



C2 アドバンスド・アカデミックスキル科目

【研究付帯力の養成】

<1単位>

知財講義、論文作成講義、外部資金獲得演習、研究者との交流、SDGs・異分野技術・DX関連セミナー等を通
じて、研究に付帯すべき力を養成する科目

回	項目	時間	内容	備考
1	アカデミック・プレゼン講義	2.0H	パワポを使ったプレゼンを身に付ける。	講師：学内教員
2	論文書き方講義	1.0H	学術論文の書き方について理解する。	講師：学内教員
3	知的財産権講義	2.0H	知的財産権の基礎的な知識を学習する。	講師：学内教員
4	外部資金申請書類の作成演習	1.5H	外部資金を題材に申請書類を作成する。	講師：学内教員
5	研究者・技術者との交流	1.5H	優れた研究者・技術者との交流を図る。	講師：学外研究者
6	SDGsセミナー	1.5H	SDGsに関するセミナーに参加する。	講師：学内外教員等
7	学術関連セミナー	1.5H	専門以外の学術関連セミナーに参加する。	講師：学内教員
8	DX関連セミナー	1.5H	DX等に関するセミナーに参加する。	講師：学内教員

授業は随時実施します。D1～D3の間に履修を完了してください。

過去の 実施例

第4回 外部資金申請書
類の作成演習

競争的研究資金を獲得
するノウハウを伝授



第5回 研究者・技術者
との交流

各自で学外の優れた
研究者等との交流を
企画し、実施



第7回 学術関連セ
ミナー

各自で異分野の学
術セミナーを受講



第8回 DX関連セ
ミナー

各自でDX・デジ
タル分野の学術セ
ミナーを受講



C3 キャリアパス・ディベロップメント科目

【キャリア形成力の養成】

<1単位>

企業等の開発現場の見学、コミュニケーション講義、本学OBとの交流、進路情報講義、自己理解を深めるグループワーク等を通じて、キャリア形成力を養成する科目

回	項目	時間	内容	備考
1	社会人養成1	3.5H	企業を訪問し研究開発の現場を学ぶ。	講師：企業者
2	社会人養成2	2.5H	県の研究開発支援機関を現地で学ぶ。	講師：愛媛県職員
3	社会人養成3	1.5H	コミュニケーションマナーを学ぶ。	講師：企業者
4	キャリア形成支援1	1.5H	博士課程の卒業生（企業人／大学人）からキャリア経験の講義を行う。	講師：企業・大学OB
5	キャリア形成支援2	1.5H	後期課程学生の進路状況について学ぶ。	講師：企業者
6	キャリア形成演習1	1.5H	キャリア形成のために必要とされる自己理解や能力開発について、それらを促進するためグループワークを行う。	講師：就職支援機関
7	キャリア形成演習2	1.5H		
8	キャリア形成演習3	1.5H	キャリア志向のセミナーを受講する。	講師：企業者

授業は随時実施します。D1～D3の間に履修を完了してください。

過去の 実施例

第1回社会人養成

ものづくり企業の技術開発者から説明を受けたあと、工場を見学



第2回社会人養成

愛媛県の産業支援機関の職員とともに、施設を見学



第6-8回キャリア形成演習

キャリアコンサルタントによるカードを使った自己理解ワーク



C4 リサーチ・インターンシップ科目

【実社会の体験】

<1単位>

企業等のインターンシップに参画し、課題解決型のプロジェクト等に取り組むことで、研究開発の社会的意義、自己の総合能力、キャリア志向を認識する科目

本科目では、「リサーチ・インターンシップ」を、以下の両方の条件を満たすものと定義する。

①実習期間が5日以上であり、就業体験を伴うもの。 ②課題解決に取り組む内容が含まれているもの。

学生は、以下の4タイプから、自分に合った方法を選択し、随時1回実施する。

タイプ1 「協議会型リサーチ・インターンシップ」	学生が『ジョブ型研究インターンシップ推進協議会：(株)アカリク』が提供するシステムを使って、受け入れ先を見つける。
タイプ2 「選択型リサーチ・インターンシップ」	学生が、企業等が提供する従前のインターンシップの中から、受け入れ先を見つける。
タイプ3 「指定型リサーチ・インターンシップ」	学生が、事務局が指定する企業等のリサーチ・インターンシップ該当案件の中から、受け入れ先を見つける。
タイプ4 「みなし型リサーチ・インターンシップ」	事務局が、学生の企業・大学に行き実施する調査・研究・留学等を、リサーチ・インターンシップ相当とみなして認める。

各自が任意時期に実施できます。D1～D3の間に履修を完了してください。

過去の 実施例

学生がタイプ3を選択し、インターンシップへ

- ◎就職支援企業との連携により作成されたインターンシップ候補リストを、学生へ情報提供
- ◎学生が、インターンシップにエントリー、採用
- ◎学生が、当該企業でインターンシップを実施
- ◎当該企業が、学生の評価を大学に送付
- ◎学生は、実施内容や意見をレポートにして、本学に提出

